

平成 27 年度学校経営計画表（定時制・夜間制）

1 学校の現況

学校番号	23	学校名	県立水戸南高等学校				課程	定時制，通信制		学校長名	加藤 逸男					
教頭名	内桶 二郎 (定時制・昼間制)		磯野 修 (定時制・夜間制)				沼田理津子 (通信制)		事務室長	和田 靖						
教職員数	教諭	61	養護教諭	2	常勤講師	2	非常勤講師	26	実習教諭，実習講師，実習助手	1	事務職員	6	技術職員等	10	計	108
生徒数	課程・学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	定時制(昼)普通科		45	31	36	38	31	25	4	6	116	100	8			
	定時制(夜)普通科		13	12	22	15	20	8	6	4	61	39	4			
	通信制 ライフデザイン		75	69	86	94	67	87	75	121	303	371	25			

2 目指す学校像

校是「風雪に耐えてこそ巨木の年輪ハ刻まれる」

常に明るくのびのびと学習を続け、高い理想と強い向上意欲に燃える豊かな心情と丈夫な身体とを兼ね備えた、心身ともにたくましい人間を育成する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	義務教育段階の学習内容の定着が不十分な生徒が多い。また、学習の習慣が身につけていない生徒も多い。	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣の確立 就職試験等に対応できる基礎学力の定着
進路指導	生徒の勤労観・職業観が未熟であり、さらに産業構造の変化に伴う雇用形態の多様化や不況等の影響を受けたことにより、就職できなかった生徒が多い。経済的事情もあり、進学者は少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい勤労観・職業観の育成 組織的・体系的なキャリア教育の充実 進路選択における生徒の主体性の育成 進学希望者への対応
生徒指導	心因性の不登校ばかりでなく怠学的傾向がある生徒、基本的な生活習慣・規範意識や公共心に欠ける生徒等、様々な問題を抱えた多様な生徒が存在している。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解の深化による信頼関係の構築 基本的な生活習慣，規範意識，公共心や道徳性の育成 学校全体として組織的，計画的な生徒指導
特別活動	中学校時代に不登校を経験した生徒が多く、集団生活にうまくなじめない生徒が増えている。コミュニケーション能力の不足など、社会性に欠け、良好な集団生活ができない生徒が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい人間関係の構築や、よりよい学校生活を築こうとする自主的態度の育成 学校行事，定通体育大会や生活体験発表会等への参加率の向上

4 中期的目標

- 1 自由な校風のもとで単位制高校の特色を生かすことにより、小・中学校で不登校を経験した生徒や、高校を中途退学した生徒を初めとする多様な生徒の、潜在的な能力や適性を伸ばせるような指導に努める。
- 2 働きながら学ぶ者、進学や就職を目指す者、文化やスポーツに特異な才能を持つ者、生涯学習の一環として学ぶ者など、様々な目的をもって学ぶ生徒が、一人一人の夢や目標を実現できるよう努める。

5 本年度の重点目標（定時制・夜間制）

重点項目	重点目標
基礎学力の向上と指導方法の工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で課題小テストを実施し、生徒一人一人の学習状況を把握するとともに、学習形態や指導方法を工夫し、きめ細かな学習指導を行う。 ・進路希望実現に向けて年3回の実力テスト【コンテスト形式】を実施し、社会で必要とされる一般常識・基礎学力等の確実な定着を図る。 ・学習意欲を引き出せるよう指導方法や教材・教具を更に工夫する。
教育活動全体を通じたキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体を通じ、組織的・系統的なキャリア教育を更に充実させ、発達段階に合わせて望ましい勤労観・職業観を育成する。 ・進路実現に向けて主体的・積極的に取り組む気運を醸成する。 ・進路面談や個々の生徒へのサポートをより充実させ、きめ細かに一人一人のキャリア発達を支援する。 ・ジョブカフェやハローワーク等の外部機関との連携を一層強化する。
生徒指導及び道德教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関やスクールカウンセラーとの連携をとりながら、教育相談体制を充実させ、種々の課題を抱えた生徒に対して共感的理解に立って各種支援を行う。 ・外部機関との連携を充実させ、教員集団の共通理解のもと組織的・計画的な生徒指導を行うことで、基本的生活習慣の確立や、規範意識および公共心・道德心の育成を図る。 ・「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの防止に努め、実態把握や対応を適切に行う。
特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験発表会や晩秋祭に向けホームルーム活動や生徒会活動を活性化させ、望ましい人間関係を形成するとともに自己肯定感・自己有用感を育む。 ・行事への主体的な取組により、協力して諸問題を解決しようとする実践的な態度を育て、いじめを排除する空気を持った生徒集団を構築する。 ・南高スピリットアッププログラムを効果的に活用するなど学校行事を充実させ、集団への帰属意識や連帯感を深め、公共の精神を養う。 ・定通体育大会や生活体験発表会等への参加を奨励し、活動者数の増加に努める。